

## 1 製品及び会社情報

製品名 ; くみあい麦専用グッド I B・エムコート入り複合 2 4 0 5 - A A 3 2 特号  
別名 ; きばる麦追肥一発 2 4 0 5 - A A 3 2  
会社名 ; 全国農業協同組合連合会  
担当部署 ; 耕種資材部  
住所 ; 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F  
電話番号 ; 03-6271-8285  
F A X 番号 ; 03-5218-2536  
e-mail ; zz\_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp  
緊急連絡先 ; 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 ; 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

## 2 危険有害性の要約

### 製品の GHS 分類

|           |                  |          |
|-----------|------------------|----------|
| 物理化学的危険性  | 可燃性固体            | 区分に該当しない |
|           | 自然発火性固体          | 区分に該当しない |
|           | 酸化性固体            | 区分に該当しない |
|           | 金属腐食性物質          | 区分に該当しない |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性（経口）         | 区分に該当しない |
|           | 急性毒性（経皮）         | 分類できない   |
|           | 急性毒性（吸入）         | 分類できない   |
|           | 皮膚腐食性/刺激性        | 分類できない   |
|           | 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 分類できない   |
|           | 呼吸器感作性           | 分類できない   |
|           | 皮膚感作性            | 分類できない   |
|           | 生殖細胞変異原性         | 分類できない   |
|           | 発がん性             | 分類できない   |
|           | 生殖毒性             | 分類できない   |
|           | 特定標的臓器毒性（単回ばく露）  | 分類できない   |
|           | 特定標的臓器毒性         | 分類できない   |

# 製品安全データシート

整理番号：jcam-5163  
改定日：2021 年 10 月 29 日

|           |                                  |                  |
|-----------|----------------------------------|------------------|
|           | (反復ばく露)<br>誤えん有害性                | 分類できない           |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性 短期（急性）<br>水生環境有害性 長期（慢性） | 分類できない<br>分類できない |

## GHS ラベル要素

|           |                                   |
|-----------|-----------------------------------|
| 絵表示又はシンボル | なし                                |
| 注意喚起語     | なし                                |
| 危険有害性情報   | なし                                |
| 注意書き      |                                   |
| 【安全対策】    | 粉じんを吸入しないこと。<br>換気の良い場所で使用すること。   |
| 【応急措置】    | 気分が悪い時は、医師に連絡すること。                |
| 【保管】      | 容器を密閉して保管すること。<br>可燃物から離して保管すること。 |
| 【廃棄】      | 内容物・容器を国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。     |

## 3 組成及び成分情報

|             |        |
|-------------|--------|
| 化学物質・混合物の区別 | 混合物    |
| 化学名又は一般名    | 指定配合肥料 |

| 主成分                   | 含有量<br>(%) | 化学式                                             | 官庁公示整理番号<br>(化審法・安衛法) | CAS No.    |
|-----------------------|------------|-------------------------------------------------|-----------------------|------------|
| 硫酸アンモニウム              | 50-60      | (NH <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> | 1-400                 | 7783-20-2  |
| 塩化カリウム                | 10 以下      | KCl                                             | 1-228                 | 7447-40-7  |
| 尿素                    | 20-30      | CO(NH <sub>2</sub> ) <sub>2</sub>               | 2-1732                | 57-13-6    |
| 樹脂組成物*                | 10 以下      | —                                               | —                     | —          |
| イソブチリデンジウレア<br>(IBDU) | 10 以下      | 下記に記載*                                          | 2-1742、2-(11)-21      | 6104-30-9  |
| 硫酸マグネシウム              | 1 以下       | MgSO <sub>4</sub> ·7H <sub>2</sub> O            | 1-467                 | 10034-99-8 |
| シリカヒューム               | 1 以下       | SiO <sub>2</sub>                                | —                     | 69012-64-2 |

\*樹脂組成物：ポリオレフィン系樹脂：ポリエチレン等

\*イソブチリデンジウレア(IBDU)の化学式 :  $(\text{CH}_3)_2\text{CHCH}(\text{NHCONH}_2)_2$

労働安全衛生法に基づく、名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物  
なし

化学物質排出把握管理促進法に基づく対象物質  
なし

#### 4 応急措置

|           |                                                 |
|-----------|-------------------------------------------------|
| 吸入した場合    | 分解ガスや粉塵の場合は、新鮮な空気のある場所に移し安静にさせ、必要に応じて医師の診断を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | 水で洗い流す。                                         |
| 眼に入った場合   | 1. 直ちに多量の清水で洗眼する。<br>2. 必要に応じて医師の診断を受ける。        |
| 飲み込んだ場合   | 意識があるときには、飲んだものを吐き出させ、必要に応じて医師の診断を受ける。          |

#### 5 火災時の措置

|                       |                                                                 |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 適切な消火剤                | 多量の水                                                            |
| 使ってはならない消火剤           | 情報なし                                                            |
| 火災時の特有の危険有害性          | 加熱されると有害ガス（アンモニアガス等）を発生する。                                      |
| 特有の消火方法               | 本製品は不燃性であるが、加熱されると有害ガスを発生するので、保管場所を移動する。<br>移動が困難な時は、多量の水を注水する。 |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。<br>状況に応じて呼吸保護具を着用する。                  |

#### 6 漏出時の措置

|                       |                                                                                                         |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護マスク等を着用し、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。可燃性物質に着火した場合に備えて、消火機材を準備する。 |
| 環境に対する注意事項            | 排水溝へ流さない。                                                                                               |
| 封じ込め及び浄化方法及び機材        | 掃き集めて回収する。                                                                                              |

## 7 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

発散した粉じんを吸い込まないように、必要に応じて適切な保護具を着用し、取扱い後は顔、手、口等を水洗いする。

#### 接触回避

強アルカリ性資材、燃料その他の可燃性物質との直接混合は避ける。

#### 安全取扱注意事項

1. 床にこぼれた粒で足元が滑り、転倒する事があるので、掃除する。
2. 容器は破損につながらないように丁寧に取り扱う。

### 保管

#### 安全な保管条件

1. 開封のまま長期間放置すると、吸湿して固結の原因となるので、開封後は密封して保管する。
2. 直射日光を避け、高温・多湿下での保管は避ける。
3. 可燃性物質との近接は避ける。

#### 安全な容器包装材料

ポリエチレン、ポリプロピレン

## 8 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

発塵を起こさぬ装置機械を使うか、局所排気装置を使用する。  
設定なし。

### 管理濃度

日本産業衛生学会、ACGIH 共に、本品の設定はないが、粉塵対応として、下記の値を推奨する。

### 許容濃度

日本産業衛生学会勧告値（2020 年）第 3 種粉塵

吸入性粉塵 2 mg/m<sup>3</sup>

総粉塵 8 mg/m<sup>3</sup>

### 保護具

#### 呼吸器の保護具

防塵マスク

#### 手の保護具

ゴム手袋

#### 目の保護具

ゴーグル型眼鏡

#### 皮膚・身体の保護具

長袖作業衣

## 9 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

固体

### 色

灰白色

### 臭い

データなし

### 沸点又は初留点及び沸騰範囲

データなし

### 囲

### 可燃性

データなし

### pH

データなし

### 溶解度

#### 溶解性（水）

易溶

### 蒸気圧

データなし

### 密度

データなし

### 粒子特性

粒径範囲 1~4mm

### その他のデータ

### かさ比重

約 1.0

## 1 0 安定性及び反応性

|            |                          |
|------------|--------------------------|
| 反応性        | データなし。                   |
| 化学的安定性     | 加熱するとアンモニアガス等の有害ガスを発生する。 |
| 危険有害反応可能性  | データなし。                   |
| 避けるべき条件    | 高温、多湿                    |
| 混触危険物質     | 可燃性物質                    |
| 危険有害な分解生成物 | アンモニアガス、窒素酸化物等           |

## 1 1 有害性情報

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 急性毒性（経口）         | 区分に該当しない<br>構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。<br>＜塩化カリウム＞<br>ラット LD50 値: 2,600mg/kg (IPCS 1992)<br>＜硫酸アンモニウム＞<br>ラット LD50 値: 4,250g/kg (SIDS 2004)<br>＜尿素＞<br>ラット LD50 値: 14,300mg/kg (SIDS)<br>以上のデータに基づき区分に該当しないとした。                                |
| 急性毒性（経皮）         | 分類できない データなし                                                                                                                                                                                                                                        |
| 急性毒性（吸入）         | 分類できない データなし                                                                                                                                                                                                                                        |
| 皮膚腐食性/刺激性        | 分類できない<br>構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。<br>＜尿素＞<br>ヒトの試験では 7.5%で Slight irritation、30%で moderate との報告がある(48 時間)。<br>ICSC では皮膚に対し発赤と記載されている。<br>ウサギの試験では刺激性は認められていない。<br>上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019 の表 B.4 の判定基準（皮膚刺激性の区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 分類できない<br>構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。<br>＜尿素＞<br>ICSC では眼に対し発赤と記載されている。<br>ウサギの試験では刺激性は認められていない。<br>上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019 の表 B.8 の判定基準（可逆的な眼への影響に関する区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。                                                            |

|                     |        |       |
|---------------------|--------|-------|
| 呼吸器感作性              | 分類できない | データなし |
| 皮膚感作性               | 分類できない | データなし |
| 生殖細胞変異原性            | 分類できない | データなし |
| 発がん性                | 分類できない | データなし |
| 生殖毒性                | 分類できない | データなし |
| 特定標的臓器毒性<br>(単回ばく露) | 分類できない | データなし |
| 特定標的臓器毒性<br>(反復ばく露) | 分類できない | データなし |
| 誤えん有害性              | 分類できない | データなし |

## 1 2 環境影響情報

|                    |                                                 |       |
|--------------------|-------------------------------------------------|-------|
| 生態毒性               |                                                 |       |
| 水生環境有害性<br>短期 (急性) | 分類できない                                          | データなし |
| 水生環境有害性<br>長期 (慢性) | 分類できない                                          | データなし |
| 残留性・分解性            | データなし                                           |       |
| 生体蓄積性              | データなし                                           |       |
| 土壌中の移動性            | 施肥にあたっては、包材裏面の「施肥量」を参照し、詳しくは最寄りの JA にお問い合わせ下さい。 |       |
| オゾン層への有害性          | データなし                                           |       |

閉鎖性水域では水質の富栄養化をもたらすので、排水については「水質汚濁防止法」の排水基準を守ること。

この製品はHMEに該当する。

## 1 3 廃棄上の注意

1. 下水、河川等に直接流さない。
2. 「廃掃法」にしたがって処理する。
3. 燃やさない (不燃物であるが加熱すると有害ガスを発生する)。

## 1 4 輸送上の注意

|      |       |
|------|-------|
| 国際規制 | 該当しない |
|------|-------|

国内規制 下記の法令に基づく規定の積載方法、容器等によって輸送する。  
船舶安全法、航空法、港則法

輸送の特定の安全 1. 雨水等による水濡れ防止を行う。  
対策及び条件 2. 破袋、荷崩れ等を起こさぬよう適切な対策をとる。

## 1 5 適用法令

肥料の品質の確保 指定配合肥料  
等に関する法律  
消防法 該当しない  
労働安全衛生法  
粉じん則 粉じんが発生する屋内作業場は粉じん則が適用される。  
粉じんを多量に吸入した場合、肺障害等の健康障害のおそれがあるため、作業環境測定を行うとともに、その結果に基づいたリスクアセスメントを行うこと。

## 1 6 その他の情報

- 1) 本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 2) 本文中の注意事項は通常の手扱いを想定しておりますので、製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。
- 3) 当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。
- 4) 本 SDS の危険有害性は、以下の情報・基準を元に作成いたしました。
  - ・厚生労働省「職場のあんぜんサイト」のGHS対応モデルSDS
  - ・当社原料メーカーから入手した原料SDS
  - ・JIS Z 7252 : 2019「GHSに基づく化学品の分類方法」
  - ・「危険物船舶運送及び貯蔵規則」

本SDSは、下記の情報を元に作成しました。  
本製品については、下記にお問い合わせください。

会社名 ; ジェイカムアグリ株式会社  
連絡先 ; 生産管理本部  
住所 ; 東京都千代田区神田須田町 2-6-6 ニッセイ神田須田町ビル  
電話番号 ; 03-5297-8904  
FAX番号 ; 03-5297-8908  
緊急連絡先 ; 黒崎工場  
電話番号 ; 093-643-2375

# 製品安全データシート

---

整理番号 : jcam-5163  
改定日 : 2021 年 10 月 29 日